



メープルリーフ(カエデ)

花言葉・「美しい変化」

校長 山浦 麻紀

秋といえば紅葉（こうよう）です。カナダの国旗にあるカエデも秋になると葉が赤や黄色に色づきます。岸中のカエデもザクロも艶やかに赤色が増し始めました。

先日の新人戦や様々な発表の場に、多くの保護者の方々、地域の方々に足をお運びいただき、生徒たちへあたたかい御声援を頂戴いたしました。心から感謝申し上げます。

10月26日に本校の国際交流事業にて私も団長として出発いたします。そこで、今月号は教頭先生の文章を掲載いたします。

「実りの秋」

教頭 能見郁永

早いもので10月も本日で終わりです。最近は気温が下がり、朝や夜は肌寒さを感じる季節となってきました。日が暮れる時間も早くなり、夜が長くなってきましたね。

「秋」がつく言葉には、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋などたくさんありますが、その中のひとつに「実りの秋」という言葉があります。実りには、植物が実を結ぶことという意味の他に、「努力が良い結果をもたらすこと。努力の成果。」という意味があります。まさに暑い夏に努力を重ねた皆さんの活躍を表すのにぴったりの言葉ではないでしょうか。

9月25日（水）から始まった運動部の新人戦では、各部活動の1・2年生がこれまでの練習の成果を全力で発揮し、全員で気持ちを一つにしなが熱い戦いを繰り広げてくれました。十分に実力を発揮できた人、悔しさが残ってしまった人、それぞれ感じ方は異なると思いますが、ぜひ、この経験を糧として、次の大きな目標に向けさらに成長してくれることを期待しています。

10月22日（火）には市駅伝大会が荒川総合運動公園で行われました。約2か月の間、朝や放課後を中心に練習を重ね、実力をつけてきた駅伝部44名が気持ちを一つにして、一人ひとりの思いとともに襷をつなぎ、見事、男子35位、女子17位という素晴らしい成績を残してくれました。

また、文化部では、10月13日（日）の敬老を祝う会で、吹奏楽部と演劇部が地域の方々に向けて、リコーダーの素敵な音色や、元気いっぱいのダンスを届けてくれました。参加者の皆様からは「元気が出ました。」「とても良い時間を過ごすことができました。」と、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

10月19日（土）の南地区文化祭ステージ発表会では、吹奏楽部が「ひまわりの約束」、「ありがとうの花」などを演奏し、会場が一体となる美しいハーモニーを奏でてくれました。また、翌週の作品展示の部では、美術部3年生の魂が込められた作品に会場された方々もとても感動されていました。

他にも、岸中生の活躍する場面が非常に多くみられました。普段の学校生活において、コツコツ努力を続けた成果が美しく変化し、実を結んだからです。まさに「実りの秋」です。これからも「もっと岸中 前へ！」進んでいきましょう！

保護者の皆様方、地域の皆様方には、様々な面での御理解御協力を頂きましたこと、そして暖かい御声援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。有り難うございました。

さて、10月26日（土）からカナダ親善国際交流事業が行われています。明日、11月1日（金）に帰国予定です。11月の朝礼で報告会を行いますので、楽しみにしてください。